

# 研究者情報

フリガナ 氏名	フロモト タケノリ 風呂本 武典	職名/学位	准教授/博士(経済学)
所属 学科	流通情報工学科	所属学会	交通権学会, 海運経済学会, 港湾経済学会, 物流学会, 交通学会
専門 分野	・地域経済 ・観光論 ・交通経済	利用可能な 設備等	特になし

## 研究テーマ

過疎地域における内発的発展と交通問題、地域コンテンツによる地域観光振興、コンテンツツーリズムと地域自律

## コンテンツツーリズムによる地域の観光振興

本研究は近年、特にアニメ・マンガ・ゲーム作品における舞台探訪や美少女や美少年系のイラストを使う観光振興が多数の観光客を集めて成功している。このいわゆる萌え系と呼ばれるコンテンツツーリズムについて、作品や地域ごとの構造を分析比較し、成功するための方策を考察する。そして単なるトレンドの模倣による失敗を防ぎ、過疎地域の郷土への愛着の醸成を伴う内発的発展に繋げるための地域コンテンツとして確立し、地域創生に寄与することを目的とする。コンテンツツーリズム研究はコンテンツホルダーやコンシューマの多数が存在する都市側の視角からが中心であったが、本研究は特に地方からの視角を一貫して行いたい。その中でも中国山地や瀬戸内海地域での日本の原風景を活かしたコンテンツ創造を在地における実践の主なフィールドとし自律的な地方創生活動の一環としたい。

過疎地域においては観光振興と地場産業を通じて魅力を創出する街おこし事業などに取り組むところも少なくない。コンテンツツーリズムは、目立った観光地がなかった地方都市や過疎地域において、新しい観光資源として他の地域との差別化を図るために現在注目されている手法である。しかし、ビジネスモデルとして注目されたがゆえに、どこの地方も同じことを考え、現在はコンテンツツーリズム過当競争の状況であり、この方法を援用し成功するには様々な課題を抱えているのが実態である。本研究ではその課題を地域や作品の持つ特性や構造から分析する。

また、コンテンツ依存の短期的な経済効果や動員数にとらわれない、長期的で内発的なそれぞれの地域振興につなげる方法を考察する。



## 本研究の成果・適用分野・アピールポイント

本研究は広島国際学院谷口研究室と共同で「西日本コンテンツ文化研究会」を立ち上げ、地元竹原市が舞台のアニメ「たまゆら」について積極的に関与した。また「宮島文庫」という瀬戸内海地域のコンテンツ発掘と創造のコンテストを毎年主催する「広島アニメーションシティ」との連携や三次市の廃酒蔵再生サブカルチャー拠点でのシンポジウム、廃止対象のJR三江線でのコスプレイベントなどの地域コンテンツ創造活動を行う。さらに半年毎に地域コンテンツ研究会を継続的にを行い、コンテンツツーリズム関係の研究者や自治体関係者とも研究を深め意見交換を行っている。このように広島県に足がかりを置いた実践活動を継続的にいきまた活動を通じて得たコンテンツ提供側である漫画家やゲーム業界関係者などとの知己も今後の研究へ活用できる環境である。

## 提供可能な連携

技術相談	共同研究	受託研究	施設利用	機器利用
可	可	可	不可	不可